▼ ファームウエア アップデート手順書

ＦＴ−９５０シリーズ用

いつも最高の状態でご愛用頂くために、最新のファームウエアにアップデートされる事をお薦め致します。本製品は、一定の条件を満たすパーソナルコンピュータ※1 と市販のシリアルケーブル※2 をご用意頂ければ、お客様ご自身でファームウエアをアップデートさせることが可能となっています。

（お客様での作業は、本手順書を最後までよくお読みになり、作業の流れをご理解頂いた上で、ご自身の責任において行って下さい。正しく作業が出来なかった場合の不具合につきましては、弊社にて有償で保守を承ります。）

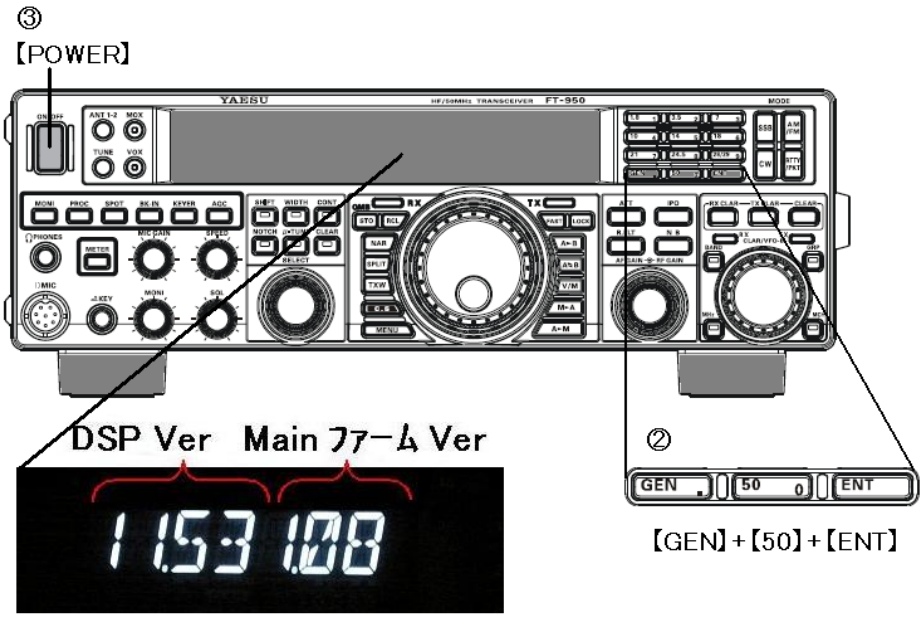
１．　ファームウエアのバージョンを確認します。

■ ファームウエアのバージョンを表示させます。

手順①.（市販の）直流１３．８Ｖ安定化電源（以降“安定化電源”と表記）を用意し、付属の専用ＤＣケーブルを接続。安定化電源のスイッチを入れます。（まだ本機の電源スイッチは入れません。）

手順②.【５０】、【ＧＥＮ】、【ＥＮＴ】３つのキー位置を確認します。

手順③. 手順②のキーを押しながら前面の【ＰＯＷＥＲ】スイッチを入れます。



■　この手順によりファームウエアのバージョンが一定時間だけ表示します。

２．　最新ファームウエアのバージョンを ＷＥＢ で確認します。

■　当社のホームページよりファームウエアの最新情報を確認して、上記表示よりも数字が更新されていたら、続く手順によりアップデートすることをお薦めします。

■　ＦＴ−９５０は、以下２項目それぞれに専用のファームウエアがありますので、必ず同時期の物がアップデートされているかをご確認下さい。

①.　メインファームウエア（システム本体のファームウエアです。）

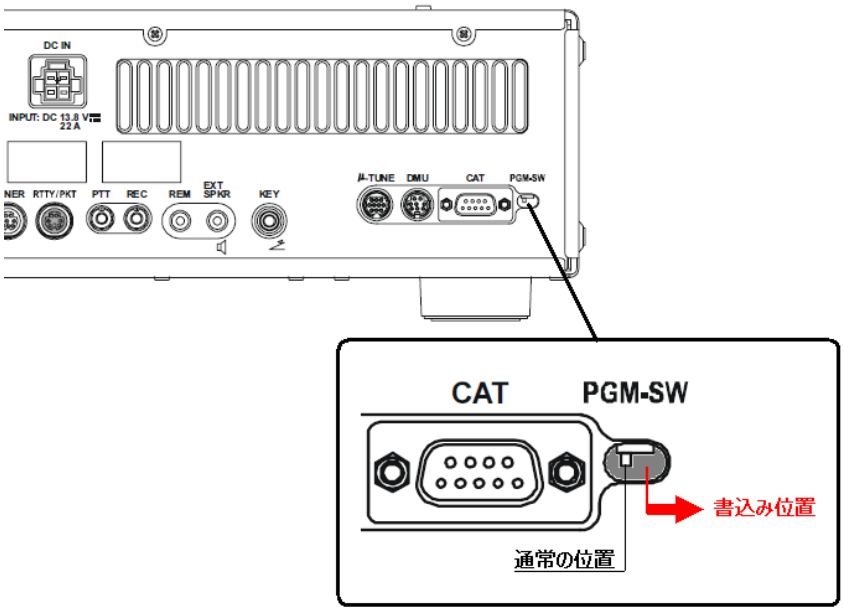
②.　ＤＳＰファームウエア（ＤＳＰに関するファームウエアです。）

３．　ファームウエアが更新されていたら次の手順でアップデートします。

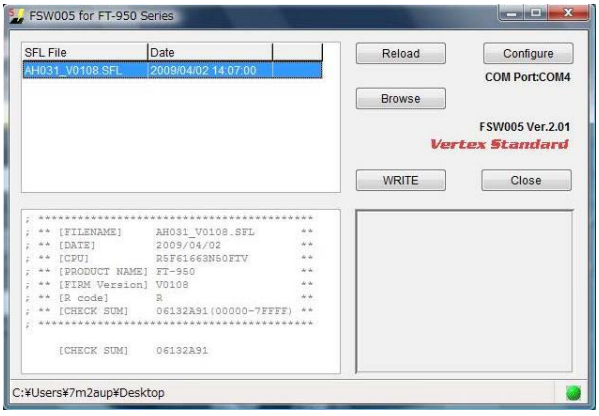
①.　メインファームウエアの更新

・　前面パネルの【ＰＯＷＥＲ】スイッチを長押しして電源を一旦切ります。続いて接続されている安定化電源のスイッチも切り、本体からＤＣケーブルも抜き去ります。

・　本機背面にあるメインファームウエア書込み用の切替スイッチ（ＰＧＭ-ＳＷ）を、通常の位置とは反対の“書込み位置”に切替ます。（切替スイッチはシャーシ奥にあり、頻繁な操作に耐えるものでは無いため、非金属のようじなどを使用して無理な力を加えないよう取扱にはご注意下さい。）



・　予め用意されたパーソナルコンピューター（以降“ＰＣ※1”と表記）と本体背面ＣＡＴ端子間を、用意されたシリアルケーブル※2で接続し、さらに安定化電源からのＤＣケーブルを接続。安定化電源のスイッチのみを入れます。本機の電源は入れないままで、接続したＰＣ※1を起動します。（※1,2 の詳細は、本説明書の“５.用意するものについて”をご参照下さい。）



・　ＰＣ※1の転送ソフト FSW005.exe を起動したら、FSW005.exe 上で同時にダウンロードした最新のファーム・ファイルを選択し、[　WRITE　] をクリック。本機に転送します。（実行が正常に出来ない場合は、本説明書巻末の“６.トラブルシュート”をご参照下さい。）転送時間は、ご用意頂いたＰＣ※1の環境次第で大きく差があります。転送が開始されると、転送ソフト内にある転送状況のバーグラフがゆっくりと伸び始めますので、転送中は絶対にそれぞれの機材の電源が切れないようご注意下さい。

・　転送が完了したら、接続されている安定化電源のスイッチを切り、本体からＤＣケーブルを抜き去ります。次にシリアルケーブル※2を本体から外して、本機背面にあるメインファームウエア書込み用の切替スイッ

チ（ＰＧＭ-ＳＷ）を元の“通常の位置”に戻します。

・ 再び、安定化電源からのＤＣケーブルを本体に接続接続し、安定化電源のスイッチを先に入れ、本機前面パネルの[ＦＡＳＴ]キーと[ＬＯＣＫ]キーを同時に押しながら同前面パネルの【ＰＯＷＥＲ】スイッチをＯＮとしてリセット・スタートさせます。

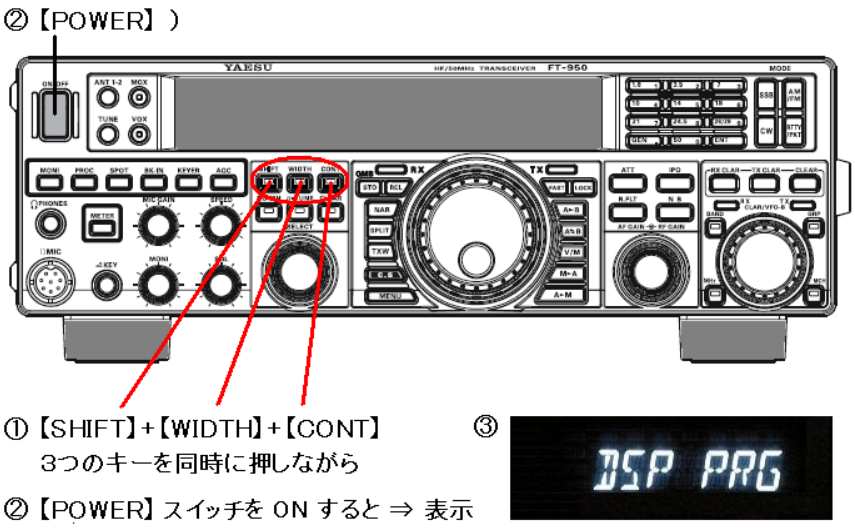
・ 最後に前面パネルの【ＰＯＷＥＲ】スイッチをＯＦＦとして、１項のバージョン確認方法によりファームウエアが更新されたことが確認出来たら底ケースを元に戻して作業完了です。

②. ＤＳＰファームウエアの更新

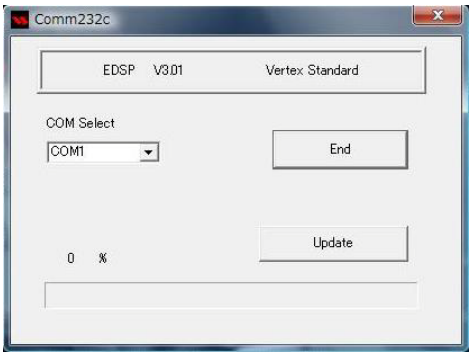
・ 本文１項のバージョン確認方法により、メインファームウエアの更新（もしくは最新である事を確認）が完了したら、続いてＤＳＰのファームウエアを更新（もしくは最新である事を確認）します。ＤＳＰのファームウエアの更新作業は、メインファームウエアの作業で操作した背面スイッチの操作は不要です。

・ 本機前面パネルの【ＰＯＷＥＲ】スイッチを切り、つづいて安定化電源のスイッチも切り、本体からＤＣケーブルを抜き去ります。予め用意されたＰＣ※１と、本機背面ＣＡＴ端子間を、ご用意頂いたシリアルケーブル※２で接続し、ＰＣ※１を起動します。

・ 以上の準備が完了したら、安定化電源からのＤＣケーブルを接続。本機の電源は入れず、安定化電源のスイッチのみを入れます。下図を参考に、①【ＳＨＩＴＦ】、【ＷＩＤＴＨ】、【ＣＯＮＴ】の３つのキーを押しながら前面の ②【ＰＯＷＥＲ】スイッチを入れます。



・



・ 周波数ディスプレイに“ＤＳＰ ＰＲＧ”と表示が現れたらファームウエアの転送ソフト“EDSP-301.exe”をクリックして起動し、[Update]をクリック。対象の“AH031H_VXXX拡張子out”ファイル最新を選択して[開く] をクリックすると、ＰＣ※１からの書き込みが始まります。（実行が正常に出来ない場合は、本説明書巻末

の“６.トラブルシュート”をご参照下さい。）

- 転送時間は、ご用意頂いたＰＣ※1の環境次第で大きく差があります。転送が開始されると、転送ソフト内にある転送状況のバーグラフがゆっくりと伸び始めますので、転送中は絶対にそれぞれの機材の電源が切れないようご注意下さい。
- 転送が完了したら本機前面の【ＰＯＷＥＲ】スイッチにより電源を切り、ＲＳ２３２Ｃケーブル※2を本機から外し、ＰＣ※1のファームウエア転送ソフトを終了させます。(※1,2 の詳細は本説明書の“５.用意するものについて”をご参照下さい。）
- 最後に、本機前面パネルの［ＦＡＳＴ]キーと、[ＬＯＣＫ]キーを同時に押しながら同前面パネルの【ＰＯＷＥＲ】スイッチをＯＮとしてリセット・スタートさせて完了です。

４.　アップデートされたバージョンに対応した取扱説明書を取得します。

アップデート作業後は、本機に対応した取扱説明書(ＰＤＦ)をダウンロードしてご確認下さい。

５.　用意するものについて

■　**ファームウエア転送ソフトのセットアップ。**

この手順書では、本機内にある２つのシステムにアップデートを行う必要があるため、お客様がご用意頂く、パーソナルコンピューター（ＰＣ※1）には、以下２つの転送ソフトをダウンロードしてセットアップしておきます。弊社のＷＥＢページより、それぞれのＺＩＰファイルをＰＣ※1内に適当に作ったフォルダにダウンロードします。、フォルダ内に保存したＺＩＰファイルを解凍して、展開した全ファイルを、インストールするＰＣ※1のデスクトップなどにコピーします。

①.　メインファームウエアの転送ソフトは展開したファイル中の“FSW005.exe” アイコンをクリックすると、起動します。　最新版の“AH031_VXXX 拡張子 SFL”ファイルを転送ソフト内で選択して使用します。

②.　ＤＳＰファームウエアの転送ソフトは展開したファイル中の“EDSP-301.exe” アイコンをクリックすると、起動します。最新版の“AH031H_VXXX 拡張子 out”ファイルを転送ソフト内で選択して使用します。

■　**アップデート用に適したパーソナルコンピューター（ＰＣ※1）の条件は・・**

- ＣＯＭ（ＲＳ-２３２Ｃ）ＰＯＲＴ のある パーソナルコンピューター
- Microsoft Windows 2000 以上のオペレーティング・システム
- ファームウエアとその転送ソフトインストール用に３０ＭＢ以上の空き容量のあるハードディスク
- ２５６ＭＢ以上のＲＡＭ
- １０２４×７６８の画面解像度、２５６色以上をサポートするビデオカードとディスプレイ

■　**作業に適したシリアルケーブル※2は・・**

使用可能なシリアルケーブル※2は、市販のＲＳ-２３２Ｃ規格で、フル結線のストレートタイプをご用意下さい。市販品の多くは、コネクタ部のオスメスが合致しますが、まれにオスメスが逆のタイプもありますので、事前にご確認下さい。既にハムログなどで、本機との動作が確認出来ていれば、同環境で作業は可能です。

６.　トラブルシュート

■　**弊社のホームページでダウンロードできるファームウエアは圧縮（ＺＩＰ）ファイルです。**

取得したＺＩＰファイルは、解凍したに展開した全ファイルを、インストールするＰＣ※1のデスクトップなどに適当なフォルダを作り、コピーして使用します。(解凍して展開された転送ソフトのＥＸＥファイルをそのままクリックしても起動しません。)

■　転送ソフトを起動しても、ＣＯＭ（ＲＳ-２３２Ｃ）ＰＯＲＴ を認識しない場合は・・

接続したシリアルケーブル※2のＣＯＭ（ＲＳ-２３２Ｃ）ＰＯＲＴのＣＯＭ番号の優先順位が低い場合などでは、そのまま転送ソフトを起動しても ＣＯＭ port Error 表示が出て転送できない場合があります。その場合には、メインファームウエアの転送ソフト“FSW005.exe”では、転送ソフト画面内の［Configure］の設定により、接続したシリアルケーブル※2のＣＯＭ番号と同じ物を選択することで転送が実行されます。

同じく、ＤＳＰファームウエアの転送ソフト“EDSP-301.exe” を起動しても ＣＯＭ port Error 表示が出て転送できない場合は、転送ソフト画面内の“COM Select”により、接続したシリアルケーブル※2のＣＯＭ番号と同じ物を選択することで転送は実行されます。

■　ＣＯＭ（ＲＳ-２３２Ｃ）ＰＯＲＴ がないパーソナルコンピューターの利用について・・

ノート型や、デスクトップで小型の物などでは、ＵＳＢ ＰＯＲＴ だけで、ＣＯＭ（ＲＳ-２３２Ｃ）ＰＯＲＴが無い場合がありますが、市販のＵＳＢシリアル変換ケーブルを利用する事で作業は可能です。既にハムログなどで、本機との動作が確認出来ていれば同環境で作業が可能です。

接続したＵＳＢシリアル変換ケーブルで増設したＣＯＭ（ＲＳ-２３２Ｃ）ＰＯＲＴを認識しない場合の多くは、パーソナルコンピューターのオペレーティング・システムが、ＵＳＢシリアル変換ケーブルの接続に伴い、自動的にデバイスドライバーを設定されたままの場合が多く、オペレーティング・システムのデバイスマネージャでは増設したＣＯＭ ＰＯＲＴが確認できていても、転送ソフトがそのＣＯＭ番号を認識できない場合があります。その時には自動で設定されたデバイスドライバーをオペレーティング・システムのデバイスマネージャで削除した後、接続したＵＳＢシリアル変換ケーブルを一旦外し、ケーブルメーカーのＷＥＢサイトで、使用するオペレーティング・システムに対応したＵＳＢシリアル変換ケーブルの最新のデバイスドライバーを入手してインストールした後に、改めてＵＳＢシリアル変換ケーブルを接続することで正常に認識することが報告されています。

本製品は、一定の条件を満たすパーソナルコンピュータ※1と市販のシリアルケーブル※2をご用意頂ければ、お客様ご自身でファームウエアをアップデートさせることが可能となっていますが、本手順書の要領が不明なまま作業を行うと、本機が起動不能となるなど重大な不具合を引き起こしますので、本書を最後までよくお読みになり、ご自身の責任において行って下さい。アップデート作業は、お客様のご希望により、弊社でも有償で作業を承ります。

株式会社 バーテックス スタンダード
ＷＤＸＣ アマチュア カスタマーサポート
〒153-8645 東京都目黒区中目黒４－８－８
TEL 03-5725-6151 FAX 03-3793-5726